

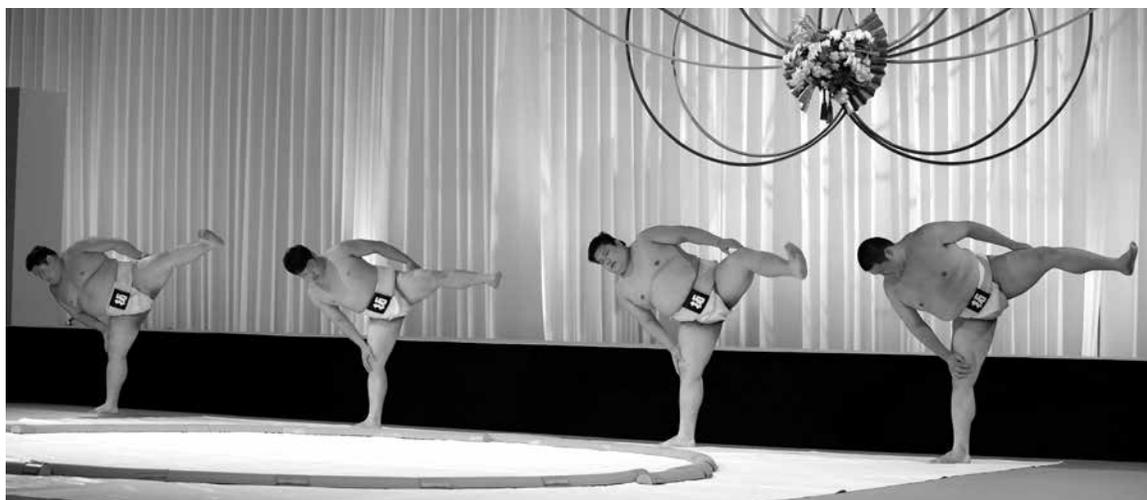
BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース

東京オリンピック開会式直前

文部科学大臣主催歓迎行事 「**武道演武**」



# 東京五輪開会式直前の文部科学大臣主催歓迎行事で

## 世界のスポーツ大臣に武道を披露



弓道



合気道

東京オリンピックの開会式のため来日した世界各国のスポーツ大臣に日本の伝統芸能を知ってもらおうと、7月23日東京五輪開会式直前の午後4時30分より、東京・帝国ホテルで文部科学大臣主催の歓迎行事が行われた。芸者衆、車人形など日本の伝統芸能とともに、オリンピック競技種目となる柔道・空手以外の現代武道7種目の演武が行われ、出席者を魅了した。

歓迎行事には世界62カ国のスポーツ担当大臣が集まり、国内関係者を含めて89名が出席。プロگرامの最後を飾る武道では、演武者28名によって弓道、少林寺拳法、銃剣道、合気道、なぎなた、剣道、相撲の順で迫力ある演武が披露された。

歓迎行事は、「和」のおもてなし」をテーマとして、会場「孔雀の間」付近に生け花、演武場後方に水引をモチーフにした装飾が飾られた。芸者衆のアトラクションに続いて、萩生田光一文部科学大臣が「スポーツには、逆境を乗り越えさせてくれる力があります。また、オリンピックには、世界中の人々が心をひとつにする力があります。これらの力によってこの困難を乗り越えられることを世界に発信したいと思

います。本日の歓迎行事では、日本の伝統文化と武道を紹介させていただきます。皆様が日本文化に触れる一助となれば幸いです」と挨拶を行った。

車人形（人形芝居）のアトラクションに続いていよいよ武道が登場。各道約2分間という短い時間にもかかわらず、武道の真髄が存分に伝わる演武が披露された。

### ▼弓道 巻藁射礼

演武者の衣装は直垂（ひただれ）の舞台



萩生田光一文部科学大臣



銃剣道



少林寺拳法



興味深く演武を見つめる  
各国のスポーツ担当大臣

演武前に演武者の川島佑斗氏は「試合をしない武道のよさを感じてほしい」と胸の内を語った。組手主体（2人一組）による演武では、法衣を身に着けた攻者と守者が順次入れ替わりテンポよく行った。

▼銃剣道 基本技・第一稽古、応用技 初めに基本技を披露。しっかりと基本の大切さを見せた。応用技では、「銃剣道の醍醐味たごみを見せたい」との中島克直氏の言葉通り、スピードと力強さを感じさせる演武を見せた。

▼合気道 自由演武 「演武では短時間で合気道の技を集約した。合気道の全てを見せたい」と合気会本部道場長の植芝充央氏。その通りにわずかに2分間のうちに基本技を中心に投げ技や固め技を立技や座技で行った。

で八段・九段など高段者が着装する衣装」と脇差を着けて演武。脇差は失敗したら切腹するという覚悟を意味する。甲矢はや（1射目）は「エイ！」と気合いを入れ、乙矢おとや（2射目）は「ヤー！」との掛け声で見事に射抜いた。

▼少林寺拳法 自由組演武（単独演武・組演武）



なぎなた



相撲



会場となった帝国ホテル



車人形のアトラクション

▼なぎなた 全日本なぎなたの形  
(2・5・6本目)

短時間でなぎなたの概要を掴んで  
もらうため、たての線などなぎなた  
の動きを見せられる2・5・6本目  
を選択。一本一本をしっかりと行い、  
正しいなぎなたを披露した。

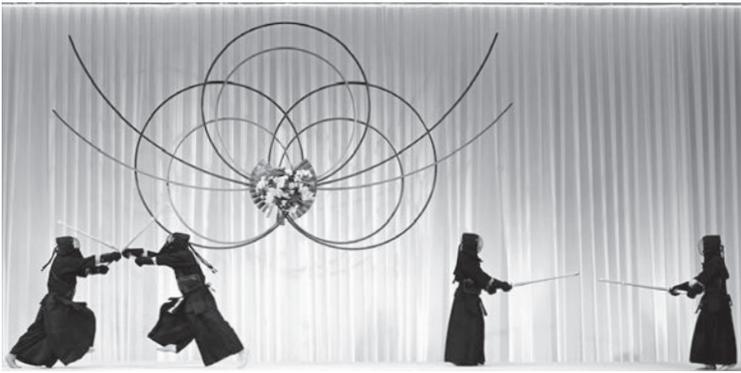
▼剣道 切り返し、互格稽古

「切り返し」は剣道のもっとも基本  
的な稽古法。2人組でそれぞれの竹  
刀を打ち合った。次に大きな掛け声  
とともに試合にも通じる「互格稽  
古」を行った。最後は「礼に始まり  
礼に終わる」との武道のエッセンス  
を見てもらうため、面を外して礼を  
行った。

▼相撲 四股・股割り、押し出し、  
上手投げ、居反り

演武者の高い柔軟性を見せた股割  
りや迫力ある取組では、感染対策の  
ため歓声は上がらなかったものの、  
観覧者は各々のスマートフォンで写  
真や動画を撮影。この日一番の盛り  
上がりを見た。

最後に丸川珠代東京オリンピック  
競技大会・東京パラリンピック競技  
大会担当大臣が挨拶を行い、盛会の  
うちに終了した。



剣道



(記念写真以外はスポーツ庁の提供写真)



演武者には大きな拍手が送られた



演武者と関係者による記念写真

## 演武者一覧 (演武順、敬称略)

### ■弓道

鹿野伸一、清水政範、戸部孝仁 (立会者)

### ■少林寺拳法

川島佑斗、秋元宏介、村瀬啓晃 (立会者)

### ■銃剣道

中島克直、平塚元気、塚越るん、佐々木二葉、衛藤敬輔 (立会者)

### ■合気道

植芝充央、日野皓正、有馬隼人、栗林孝典 (立会者)

### ■なぎなた

木本佐知子、吉井和代、谷本良子 (立会者)

### ■剣道

長濱直弥、新美俊太郎、和栗諒人、野澤豪、青木孝 (立会者)

### ■相撲

黒川宏次朗、水間龍、松田隆志、南山空哉、安井和男 (立会者)

# 第12回全国空手道指導者研修会

初のリモートで2年ぶりの開催

# 採用校拡大を目指し指導のノウハウ学ぶ



目下修次全日本空手道連盟理事・事務局長による授業支援パッケージの説明

第12回全国空手道指導者研修会（主催〓日本武道館、全日本空手道連盟、全国高等学校体育連盟空手道専門部、全国中学校空手道連盟）が8月16・17日に開催され、中学校保健体育科教員を中心に33名が参加した。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止となり、本年度も緊急事態宣言中ということで開催が危ぶまれたが、オンライン会議システム「ZOOM」を初めて導入し、2年ぶりの開催となった。本年度は東京オリンピックが開催され、8月5〜7日に日本武道館で空手が初めて行われたこともあり、空手道の採用校増加が期待される。

■初日

▽「2020年東京五輪の成果と課題・中学校武道必修化について」

（講師 栗原茂夫全日本空手道連盟副会長）

今夏行われた東京オリンピック

について「選手は力の限り戦い、日本は3個のメダルを獲得した。

合計32個のメダルが20カ国に分散

したことは、空手道が世界に普及

している証である」と総括し

た。また、中学校の武道授業にお

ける空手道の採用拡大に向けた連盟の取り組み、空手道の特徴や教育効果について説明した。

▽中学校武道指導実践法①

「空手道授業の現状」

（岩城公二国立立山青少年自然の家次長）

中学校での空手道授業の実施状

況や新学習指導要領の変更点など

について解説した。メタ認知（自

分自身を客観的に認識する）トレ

ーニングの必要性と、そのための



小山正辰講師（右）による残心の指導



リモートで参加した受講者たち



いろいろな「み方（見る・観る・視るなど）」について説明した。  
 ▽「空手道における安全配慮と憲章の求める指導者像」

〔日野一男実践女子大学・短期大学部名誉教授〕

「信頼関係を築き、教え方を工夫することが大切である」とした上で、「現在まで空手道競技による事故が訴訟になった事例はない。今後も指導者は、空手道競技による事故訴訟ゼロに努める必要がある」と安全への配慮を強調した。

## ■2日目

▽授業支援パッケージについて

〔目下修次全日本空手道連盟理事・事務局長〕

まず空手道の授業実施上の利点を説明。続いて単元計画のポイント説明と教材紹介があった。

▽基本技術

〔初級者〕

〔竹見国雄神奈川柔整鍼灸専門学校柔整科実技指導学科長〕

〔中級者〕

〔井下佳織麗澤大学准教授〕

〔上級者〕

〔小山正辰森ノ宮医療学園ウエルラングレッジスクール校長〕

受講者の技術レベルに応じ、3

グループに分かれて実施した。礼法、立ち方、突き、蹴り、受け、目付け、呼吸、極め、残心、形の指導をした。

▽中学校武道指導実践法②

〔特別支援学校における空手道授業〕

〔佐藤賢一墨田特別支援学校主任教諭〕

「障害の有無や実態にかかわらず、生徒が主体的に空手道の授業に取り組むために何が必要かを柔軟に考えながら指導・支援をしていいただきたい」と述べ、武道を通じた学校教育について説明した。

▽中学校武道指導実践法③

〔団体形演武〕

〔野中史子高知市立三里中学校主幹教諭〕

形演武のポイントと試合進行についての説明後、参加者を10グループに分け、演武発表を行った。

▽中学校武道指導実践法④

〔創作組手〕（小山正辰）

創作組手について「基本技能、形演武、約束組手の後の実施を想定している。コロナ禍でも実技の雰囲気を楽しむことができる。生徒の安全・安心に配慮した方法なのでぜひ活用していただきたい」とし、実技を交えながら説明した。